

南蛮貿易「宣教師の目的は？」

法則化☆風の如く 風林裕太

教科書（東京書籍）96～97 ページの南蛮人渡来図屏風を提示する。

発問 1 船から降りた人は何人いますか？

（45人）先生、船に乗っている人は数えますか？という質問が出るので、発問1を繰り返す。陸にいる人の見分け方は服装である。先頭を歩いている人が黒いマント来た宣教師に説明している。

発問 2 この人たちは何と呼ばれましたか？本文から探さない。

（南蛮人）

発問 3 この絵の中で、一番えらいのは誰ですか？

いくつか考えがあるが、南蛮寺に大名がいる。

発問 4 南蛮人たちはどこに向かっていますか？

（大名に貿易品を売る許可をもらうために南蛮寺に向かっている。）

発問 5 黒人がいます。黒人は何をしていますか？

トラや馬や鳥や箱や筒を持って運んでいる。大西洋三角貿易や奴隷の学習をしていれば、世界史の学習とつながる。

指示 1 運んでいるのが貿易品です。箱の中には何が入っているのでしょうか？教科書に書いてありますので、96 ページから読んでいきなさい。

（中国産生糸・絹織物、東南アジア産胡椒、毛織物、時計、ガラス製品、地球儀など）
いくつかは大名への献上品となった。

発問 6 最初に日本にやってきた宣教師はザビエルですね。ザビエルはカトリックですか？プロテスタントですか？

ここは復習である。思いだせなければ、一つ前のページに戻り、ザビエルがイエズス会であることとカトリックがアジア、アフリカでキリスト教を広めようとしたことを確認する。

発問 7 教科書にザビエルは何年ぐらい日本いたと書いてありましたか？

（2年余り）

発問 8 2年間でキリスト教の信者は何人くらいになったと思いますか？ザビエルが来る前は0人です。

（1000人）

発問 9 このあと増えると思いますか？

ここは資料を提示する。キリシタンの数はザビエルが来てから30年間で何倍になっていますか。

指示 2 キリスト教を広めた宣教師たちでしたがもう一つ目的がありました。漢字四

文字で教科書から書き抜きなさい。

(南蛮貿易)

ここで最初の話に戻る。だから貿易を目的にやってきた南蛮人は宣教師に連れられ、南蛮寺に行くのである。そこで許可をもらう大名はキリシタン大名である。南蛮貿易とキリスト教布教はセットである。

このあとの歴史はキリスト教を禁止するか貿易を奨励するかがその時代のリーダーによって変わっていきます。※信長は奨励、秀吉はバテレン追放令、家康は初めは黙認、その後の江戸幕府は鎖国体制である。

時間があれば、ザビエルの手紙や宣教師の手紙に当時、取引された商品がでてくるので、紹介したい。

【板書】

1543年 ポルトガル人が種子島に漂着、鉄砲伝来(※戦国時代の学習で既習済み)

1549年 イエズス会のザビエルがキリスト教を伝える。

南蛮貿易の図

中国産絹織物や東南アジア産胡椒のほか毛織物、時計・ガラス製品・地球儀など

→

ヨーロッパ

日本

←

銀